

# サーキュラー・エコノミーとは

【リニア・エコノミー(直線型経済)】地球から資源・エネルギーを奪い、製品製造・販売、使用後廃棄

【リサイクル・エコノミー(いわゆる3R<リデュース・リユース・リサイクル>)】

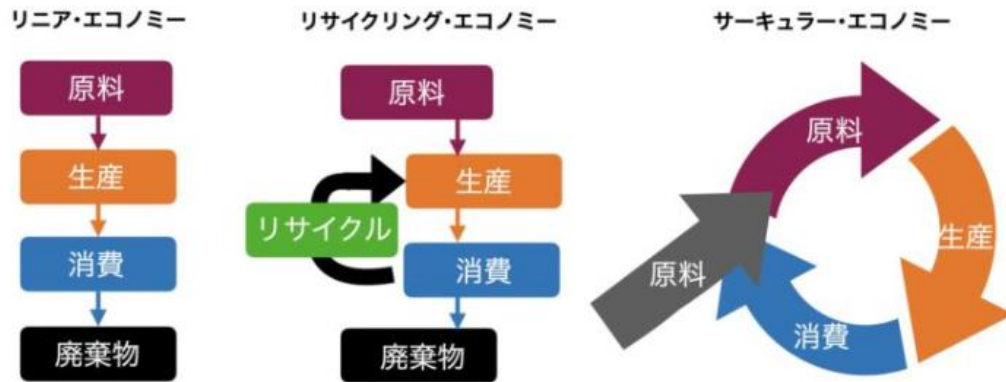
- 廃棄物の発生を抑制、廃棄物のうち有用なモノを循環資源として利用、適正な廃棄物の処理を行い天然資源の消費を抑制することで、環境への負荷を極力限り抑制 ⇒廃棄物を出す前提



【サーキュラー・エコノミー】

- モノやサービスの設計段階から廃棄物を生み出さないプランを考え、一度採取した資源を「採って、使って、使い・作り続ける」という循環で回していくシステム(リサイクル・エコノミーとは異なる)。
- 3原則:「①廃棄物と汚染を生み出さないデザイン(設計)」「②製品と原料を使い続ける」「③自然システムを再生」
- 概念の進化(欧州):経済・産業から、税制・金融・投資・社会的便宜までを徹底的にオーバーホールし、根源となる生態系保護と復元を進める。これにより人間の健康と幸せの実現を目指す。

(図表) リニア・エコノミーからサーキュラー・エコノミーへ(概念図)



(出所) 一般社団法人「Earth Company」ブログより引用(元データは、オランダ政府「From a linear to a circular economy」)